

2025年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」開催のご報告

2025年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 開催要領

人材育成プログラム開催概要

- 実施期間：2025年11月19日(水)～11月21日(金)及び11月26日(水)～11月28日(金)
- 開催場所：11/19,11/26 JICA市ヶ谷(新宿区市谷本村町10-5)
11/20,11/21,11/27,11/28 JICA横浜(横浜市中区新港2-3-1)
- 参加人数：34名

人材育成プログラム実施体制

- 主催：一般社団法人海外鉄道技術協力協会
- 後援：独立行政法人国際協力機構、国土交通省、経済産業省、一般社団法人日本鉄道車両工業会、日本鉄道システム輸出組合

参加予定企業・団体(全34社・団体) ※2025年11月19日時点 (順不同)

業種	会社名・団体名
鉄道会社	JR東日本、JR東海、JR西日本、JR九州、JR貨物、東京メトロ、東急電鉄、京急電鉄、阪急電鉄
車両メーカー	日立製作所、三菱重工業、川崎車両、日本車輛製造、総合車両製作所
機器メーカー	日本信号、京三製作所、大同信号、三菱電機、富士電機、東芝、菅沼製作所
コンサルタント	オリエンタルコンサルタンツグローバル、日本工営、日本コンサルタンツ、パシフィックコンサルタンツ、長大
商社	住友商事、伊藤忠商事、三菱商事、ニシヤマ
国及び独立行政法人	国土交通省、経済産業省、国際協力機構(JICA)、鉄道建設・運輸施設整備支援機構

人材育成プログラム募集対象者

- 海外鉄道インフラ展開に従事する若手・中堅
- 20代後半から40代の参加を想定

人材育成プログラムの募集

募集時期：2025年6月2日(月)～7月15日(火)

参加費用：無料(プログラム開発期間のため)

2025年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 実施スケジュール

セッション①②③（要説編＋スキル実践編＋専門研修）						
h	11/19(水)	11/20(木)	11/21(金)	11/26(水)	11/27(木)	11/28(金)
0900-	アイスブレイキング	海外マーケット動向 (NRI)	PPPスキームへの取組事例(OCG)	提案演習 (TAO・OCG)	日本の鉄道と欧州規格の比較(OCG)	契約交渉ロールプレイ (TAO・OCG)
1000-	キーノート・スピーチ (森地教授)	本邦企業による鉄道運営(JR東日本)	日本のTODと海外展開(森地教授)		海外ビジネス展開現場(海外実務経験者)	
1100-	我が国の国際外交戦略(外務省)		公共交通とデジタル化動向(NRI)	国際入札プロセス (OCG)		プロジェクトマネジメント論(OCG)
1200-		プロジェクトマネジメントシミュレーション (TAO・OCG)			貿易実務 (マウンハーフ)	
1300-	海外インフラプラント輸出戦略(経産省)		車両製造マネジメント(LTM)	国際標準化の枠組と動向(国交省・鉄道総研)	事業リスクと財務分析 (JARTSシニアフェロー)	日本の特殊性からアプローチする異文化理解 (TAO)
1400-	鉄道インフラの海外展開(国交省)		参入機会検討ワーク (NRI)	国際市場からの技術的要求事項(ARUP)	事業採算性の検証 (ファイナンス専門家)	
1500-	我が国のODA 戦略と鉄道分野の協力 (JICA)			国際ビジネスにおける認証制度(交通安全環境研究所)	事業収支シミュレーション (TAO・OCG)	最終ラップアップ (NRI)
1600-						修了式・写真撮影
1700-	ネットワーキングイベント(本年度及び昨年度受講生)			鉄道分野のFIDIC (OCG)		ネットワーキング交流会(関係者・受講生)
1800-						

注) NRI:(株)野村総合研究所 OCG:(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル マウンハーフ:(株)マウンハーフジャパン TAO:(株)TAO Partners LTM:LTMソリューションズ(株)
ARUP:オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド

上記に加えオンライン講座「主要国事情」として、オーストラリア、バングラデシュ、東アフリカ地域(タンザニア、ケニア、ウガンダ)の3つのエリアの海外鉄道インフラ展開に関する情報提供を行うため、最低1エリア分の聴講をお願いします。オーストラリア:1/21(水) 13:30～16:00 バングラデシュ:1/28(水) 13:00～17:00 東アフリカ地域:2/6(金) 15:30～18:30

2025年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 当日の実施の様子

■日本のTODと海外展開(森地教授)



■事業リスクと財務分析(JARTS 村崎人材シニアフェロー)



■プロジェクトマネジメントシミュレーション(TAO・OCG)



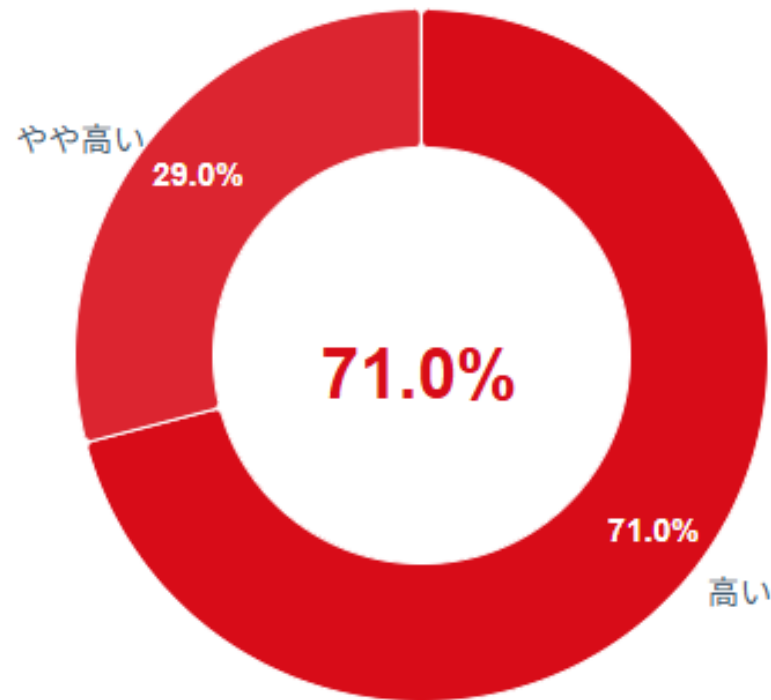
■ネットワーキングイベント(本年度及び昨年度受講生)



2025年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 アンケート結果

研修全体の満足度について

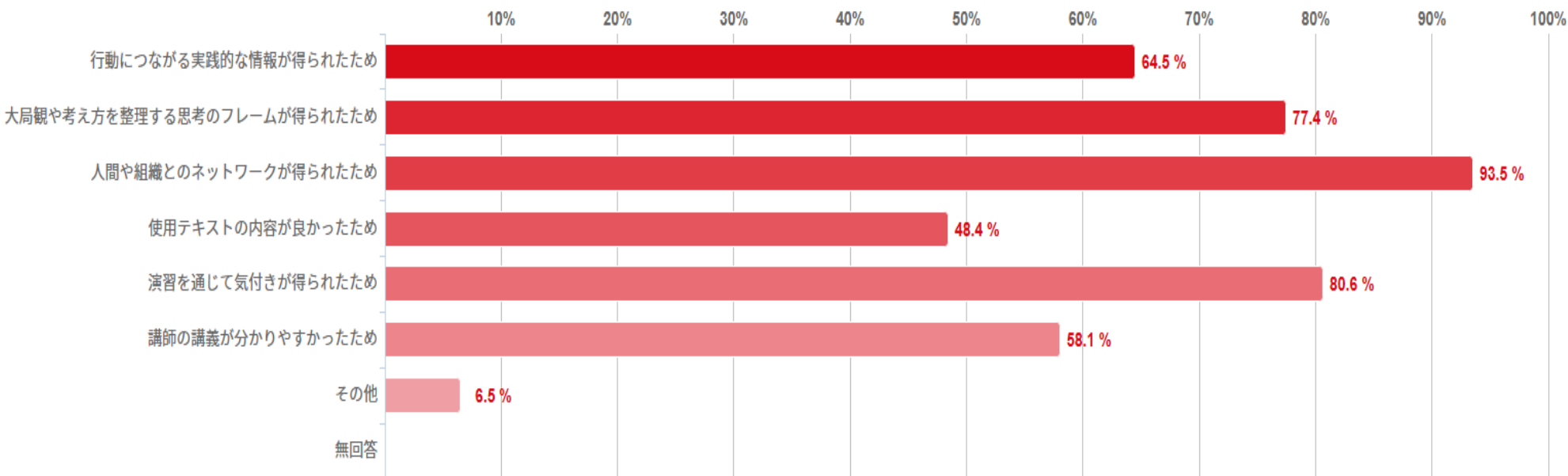
(選択肢:高い、やや高い、普通、やや低い、低い)



⇒研修全体の満足度は、全ての回答者が「高い」、「やや高い」と回答し、そのうち7割以上が「高い」評価した。

2025年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 アンケート結果

満足の理由について



⇒満足の理由として最も多かった項目は「人間や組織のネットワークが得られたため」であった。
また、演習を通じた気づきや考え方を整理する大局観・フレームが得られたという回答も多数であった。

2025年度「海外鉄道インフラ展開人材育成プログラム」 参加者の声

- ・全ての講義において、目的が練られており、知識習得系と実践系の講義がバランスよく配置されていた。
- ・研修参加メンバーも若手から中堅まで、事業者からメーカー、公的機関、商社とバランスよく参加していた印象。また、話しやすい方が多く、グループワークもやりやすかった。
- ・講師の方々には感謝申し上げます。

海外鉄道展開の全体像やプレイヤーごとの立場の違いがわかり、大変勉強になりました。海外鉄道関連部署に配属されて一定期間が経ち、ある程度知識が身につけてきた人材が更なるステップアップをするうえで、非常にためになる研修だと感じました。

内容だけでなく、講演の組み方やグループ分けにも交流を促す配慮を各所に感じました。これから会社に戻って新たな視点で海外事業に励みます。ありがとうございました。

当方にとって、業務で得るには何年分になろうかという知識、経験量でした。大変得難いものでした、本当にありがとうございました。